



道の駅

平成16年度 一般会計決算の 概要

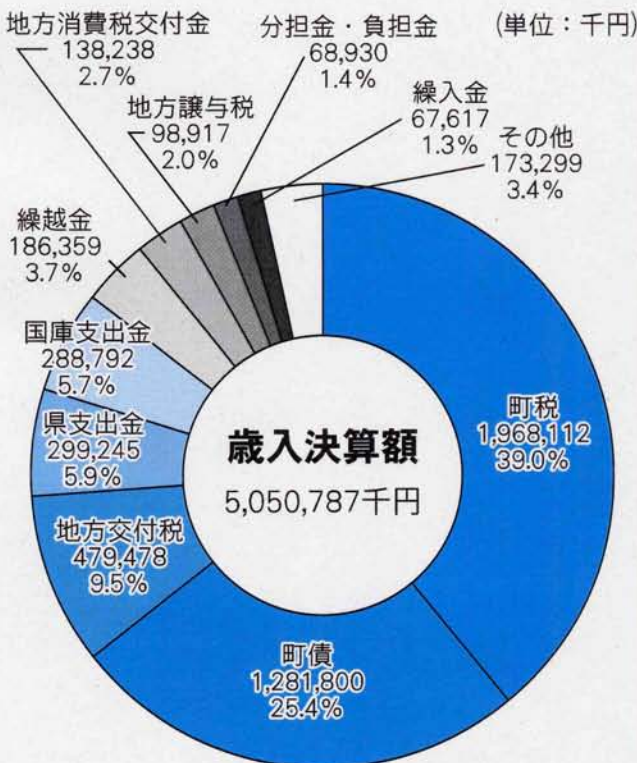
平成16年度歳入決算額 50億5079万円

第3回定例町議会が9月5日から20日まで開会され、一般会計及び特別会計決算の認定等が可決されました。決算の概要は、次のとおりです。

一般会計

歳入決算額は、50億5千79万円、前年度（49億8千209万円）に比べ、6千870万円（1.4%）の増となっています。

歳入の最も大きな割合を占める町税収入は法人税割の伸びにより19億6千811万円（前年度に比べ3千678万円（1.9%）の増のほか、道の駅ごか整備事業及び道路整備事業に伴う町債が12億8千180万円（前年度に比べ4億2千850万円（50・2%）の増となっています。一方で、法人税割の増加、道路橋りょう費の減少などにより地方交付税については、4億7千948万円（前年度に比べ1億6千112万円（△25・2%）の減となり14、15年度に続き大幅な減となっています。



町の借入金現在高の状況 (一般会計)

区分	16年度末残高(万円)	町民1人あたり(円)
一般公共事業債(地盤沈下対策等)	3億3,032	32,851
一般単独事業債(道路等)	13億7,157	136,407
義務教育施設整備事業債	14億6,717	145,914
その他	20億1,106	200,006
合計	51億8,012	515,178

町の貯金現在高の状況 (一般会計)

区分	16年度末残高(万円)	町民1人あたり(円)
財政調整基金※	6億1,931	61,592
減債基金※	5億2,627	52,339
特定目的基金※	6億4,435	64,083
合計	17億8,993	178,014

(人口10,055人 平成17年3月31日現在)

※財政調整基金とは、経済事情の変動等によって年度間の財源の不均衡を調整する基金をいいます。

※減債基金とは、町債の繰上償還や償還額が著しく多額となる年度の償還財源に充てるなど、町財政の健全な運営に役立てるための基金をいいます。

※特定目的基金とは、公共施設の建設や地域福祉の推進など、特定の目的のために積み立てている基金をいいます。

主な事業の内訳 (単位：千円)

道の駅ごか整備事業	609,599
中学校改築事業	425,103
町道新設改良事業	186,555
保育所運営事業	101,489
障害者支援事業	56,531
介護予防事業	33,227



五霞中学校校舎

私たちの町税はどうなっているの？

納めた町税の総額 1,968,112千円 (単位：千円)

固定資産税	1,264,772 (64.3%)
町民税	618,230 (31.4%) 個人317,876 法人300,354
町たばこ税	68,160 (3.5%)
軽自動車税	16,950 (0.8%)

平成16年度歳出決算額 48億1843万円

歳出決算額は、48億1千843万円で、前年度(47億9千573万円)に比べ、2千270万円(0.5%)の増となっています。

教育費では、中学校校舎の耐震改築工事が15年度から2カ年で整備され、小・中学校全ての耐震対策が完了しました。

民生費では、少子化に対応するため、「次世代育成支援行動計画」の策定や児童福祉法の改正により、児童手当の支給対象が小学3年生まで拡充しました。

土木費では、都市計画道路小路指・小福田線(町道9号線)の整備や国土交通省と共同で道の駅ごかを整備しました。

農林水産業費では、道の駅整備に係る地域食材供給施設工事や都市近郊型農業への転換を図るため、「園芸産地改革支援事業」の補助金を営農集団等に交付しました。

公債費では、減税補てん債の借換え及び平成12年度発行の小学校改修事業の償還元金が開始されたことにより増加しています。

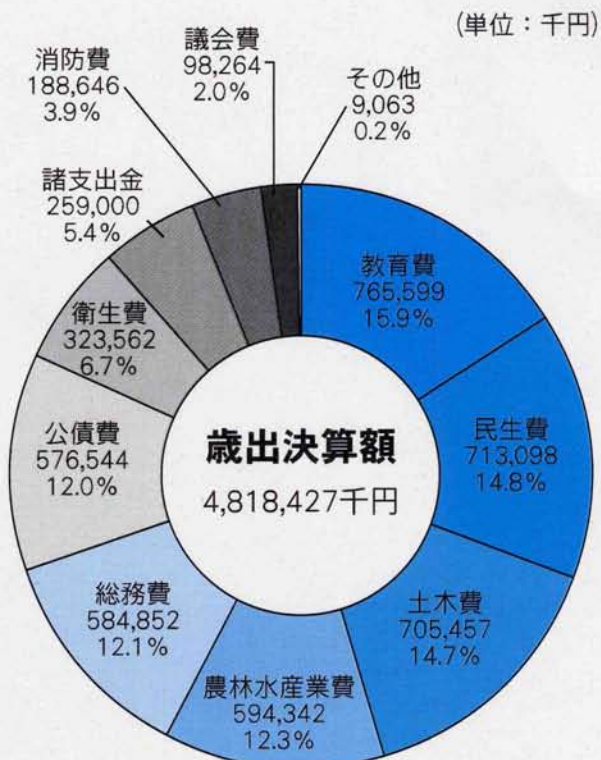
衛生費では、疾病の予防及び早期発見を図るため、各種検診や健康相談等の推進に努めました。

※平成16年度特別会計決算の概要は、11月号に掲載いたします。

町民1人当たり決算額

(人口10,055人 平成17年3月31日現在) (単位：円)

歳出		歳入	
教育費	76,141	町税	195,735
民生費	70,920	町債	127,479
土木費	70,160	地方交付税	47,686
農林水産業費	59,109	県支出金	29,761
総務費	58,165	国庫支出金	28,721
公債費	57,339	繰越金	18,534
衛生費	32,179	地方消費税交付金	13,748
諸支出金	25,758	地方譲与税	9,838
消防費	18,761	分担金・負担金	6,855
議会費	9,773	繰入金	6,725
その他	902	その他	17,234
合計	479,207	合計	502,316





平成16年度 特別会計決算の 概要

平成16年度一般会計決算の概要は、10月号でお知らせしました。今回は、各特別会計の概要をお知らせします。

国民健康保険特別会計 (事業勘定)

高齢化や社保から国保への保険加入者の増加、国保基金安定確立のため、基金積立を行いました。

国民健康保険特別会計 (診療施設勘定)

歯科矯正継続患者の治療が終了し、国保診療所は閉所しました。国保施設財政調整基金は、全額取崩し、一般会計に繰入れられました。

老人保健特別会計

受給者数は減少しましたが、高齢化等により一人当たりの医療費は増加しました。

介護保険特別会計

介護認定者が年々増加し、施設介護サービス利用者の増加により、

決算額全体では増となっております。

公共用地先行取得事業特別会計

(仮称)五霞町総合運動公園の用地取得費及び用地取得費の借入償還などとなっております。

公共下水道事業特別会計

主に小福田西谷地区の管渠整備と、環境浄化センターの維持修繕などを実施しました。

農業集落排水事業特別会計

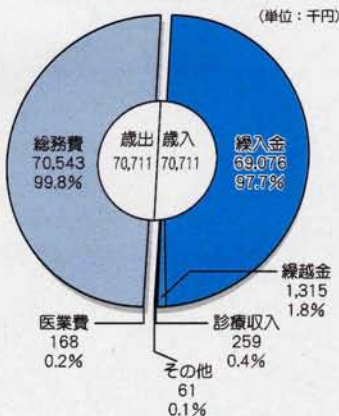
農業集落排水区域の管渠整備は完了していますので、主に各水処理センターの維持修繕などを実施しました。

水道事業会計

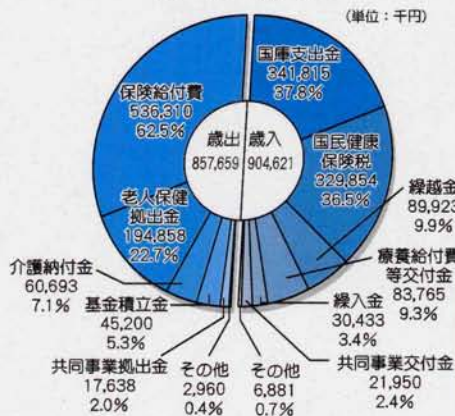
収益勘定では工場などの使用水量の増加により、2年連続の伸びを示しました。また、資本勘定では新幸谷地区の配水管整備と川妻取水場の施設改修を実施しました。

国民健康保険特別会計

診療施設勘定

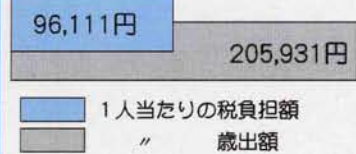


事業勘定



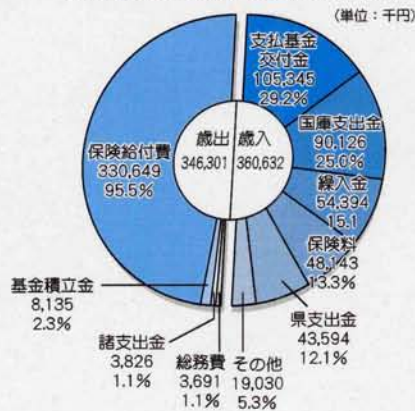
被保険者1人当たり 国保税負担額と 歳出額

平成16年度

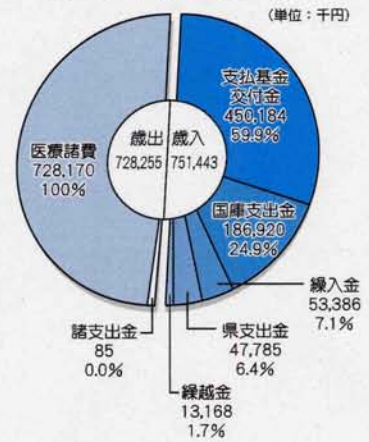




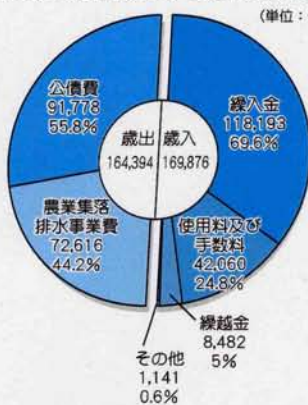
介護保険事業特別会計



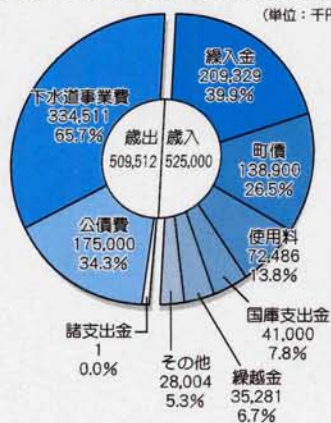
老人保健特別会計



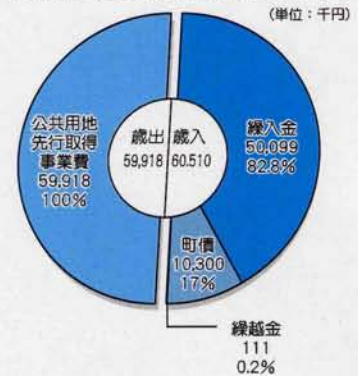
農業集落排水事業特別会計



公共下水道事業特別会計

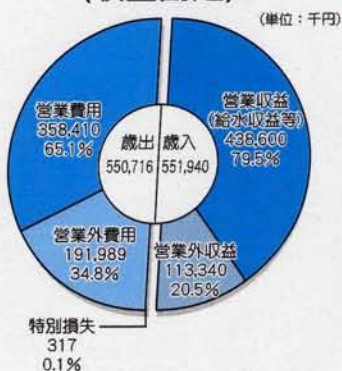


公共用地先行取得事業特別会計

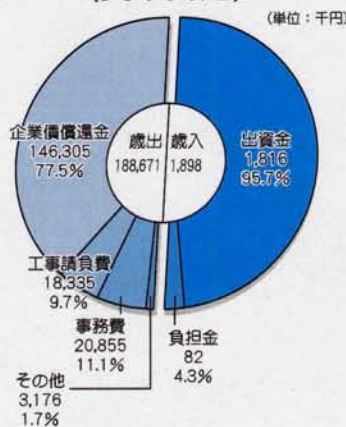


水道事業会計

(収益勘定)



(資本勘定)



町の借入金現在高の状況 (特別会計)

区分	16年度末残高(万円)	町民1人あたり(円)
公共下水道事業債	33億3,963	332,136
農業集落排水事業債	16億9,193	168,268
公共用地先行取得事業債	3億8,190	37,981
上水道事業債	41億0,537	408,291
合計	95億1,883	946,676

町の貯金現在高の状況 (特別会計)

区分	16年度末残高(万円)	町民1人あたり(円)
国民健康保険特別会計	5,463	5,433
介護保険事業特別会計	1,592	1,583
公共下水道事業特別会計	46	46
合計	7,101	7,062

(人口10,055人 平成17年3月31日現在)